

現状・課題

これまで、製造業（一次産業分野における製品の加工を含む）や事務系企業、IT・コンテンツ系企業などの企業誘致の取り組みを推進
 その結果、産業振興計画を策定した平成21年度以降、**67社の誘致、約1,800人の雇用創出**を実現
 しかしながら、元気な未来創造戦略や中山間地域再興ビジョンの目標の達成に向けては、以下の課題への対応が必要

- ① **若年人口の減少**
 - ・長年にわたる若年層の県外への転出超過によって若年人口（15～34歳）、とりわけ女性の若年人口が減少している
 - ・魅力ある仕事を創り、若者の定着につなげることが求められている
- ② **製造業の生産性・製造品出荷額等の底上げ**
 - ・製造業の生産性、製造品出荷額等は全国下位レベルにあり、底上げが必要
 - ・様々な分野の理系学生の就職の受け皿となる企業が必要
- ③ **中山間地域における働く場・生活インフラの減少**
 - ・若者や女性が魅力を感じる仕事が少なく、若者流出の一因となっている
 - ・買い物環境等の生活インフラについては、高齢化等によりニーズが高まる一方で、人口減少の進展により、サービスの維持・確保が困難になっている

企業誘致の視点からの対策

- ### I 企業誘致の取り組みを拡大
- ・これまでの商工業や一次産業分野の取り組みに加えて、「中山間地域に仕事を創る」などの視点を含めた企業誘致を4つの柱により推進
- ① **若年人口の減少**
 - ・若者や女性からニーズのある企業のさらなる誘致 **柱1**
 - ② **製造業の生産性・製造品出荷額等の底上げ**
 - ・県内製造業の生産性の向上や製造品出荷額等の増加に寄与する企業の誘致 **柱3**
 - ・理系学生の受け皿となる企業の誘致 **柱2**
 - ③ **中山間地域における働く場・生活インフラの減少**
 - ・中山間地域に働く場を創出する企業の誘致 **柱4**
 - ・中山間地域で暮らし続けることができるよう生活インフラとなる企業の誘致 **柱4**
- ### II PT設置など推進体制の整備
- ・庁内にPTとWGを設置することにより、Iの取り組みの進捗管理や下支えする施策の検討等を実施
 - ・市町村と協働して誘致を進める仕組みを構築

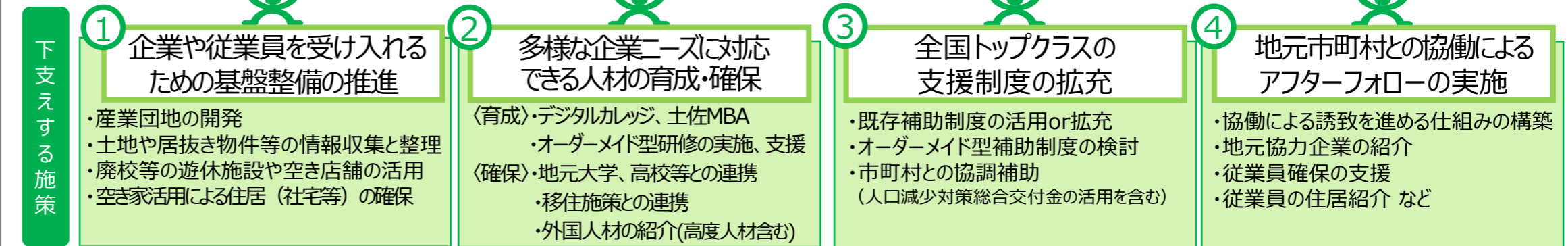
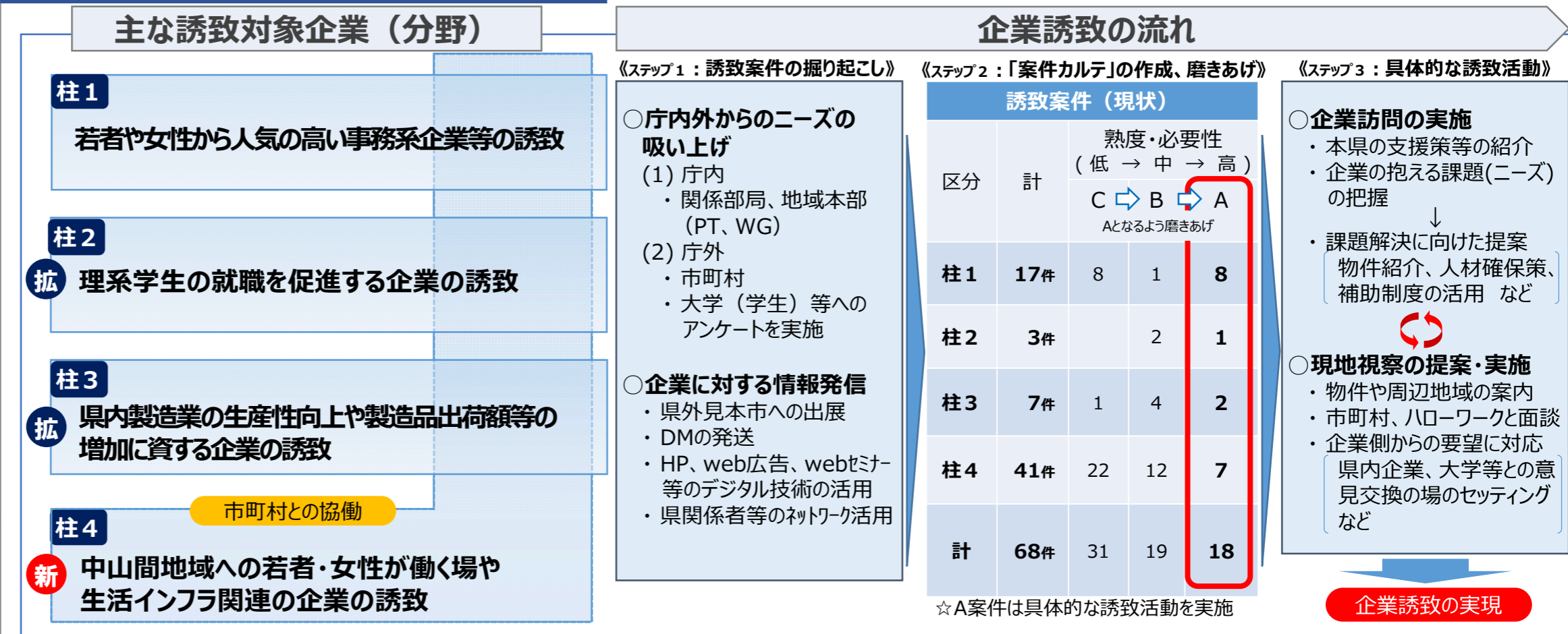
課題解決に向けた取組

県内各地に働く場を創出する様々な企業の誘致を以下の4つの柱に基づき、全庁を挙げて市町村との協働により推進

目標【KPI】

令和9年度末までに
 誘致企業51社／雇用者1,011人を創出

I 企業誘致の取り組みを拡大



II PT設置など推進体制の整備（進捗管理・下支えする施策の検討など）

